

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

令和6年10月24日
第2回総合教育会議資料2
教育部指導課

1 調査日時

令和6年4月18日（木）

2 調査対象（受験者数）

市立小学校 第6学年（1356名）
市立中学校 第3学年（1119名）

3 調査内容

（1）教科に関する調査

＜小学校＞ ＜中学校＞
◇国語 ◇国語
◇算数 ◇数学

（2）生活習慣や学習環境に関する調査

◇児童・生徒質問紙調査
[学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等]
◇学校質問紙調査
[指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等]

4 教科に関する調査結果

（1）各教科別の平均正答率（％）

① 小学校

	立川市	全国 (公立)	東京都 (公立)
国語	67	67.7	70
算数	65	63.4	68

② 中学校

	立川市	全国 (公立)	東京都 (公立)
国語	60	58.1	61
数学	57	52.5	57

※細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものでないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。（文部科学省方針）

（3）平均正答率の結果について

＜各教科別の平均正答率から＞

- ◆小学校の国語では、全国の平均正答率下回っており、算数では全国の平均正答率を上回っている。
- ◆中学校では、国語・数学ともに全国の平均正答率を上回っている。
- ＜学習指導要領の内容別の平均正答率から＞ ※全国の平均正答率との比較から
- ◆小学校では、国語・算数ともに全国の平均値を上回っている項目が増えた。
- ◆中学校の国語の1つの項目を除き、項目ごとに比較するとほぼ全国平均を上回っており、小中学校9年間を通して確実に学力の定着を図ることができている。

（2）学習指導要領の内容別の平均正答率（％）

※「国語」は全国の平均値を上回っている数値である。

① 小学校

国語	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い 方に関する事項	64.4	64.4	67.9
(2) 情報の扱い方に 関する事項	<u>87.8</u>	86.9	88.8
(3) 我が国の言語文化 に関する事項	66.7	74.6	75.3
A 話すこと・聞くこと	<u>62.7</u>	59.8	63.9
B 書くこと	<u>69.0</u>	68.4	69.9
C 読むこと	66.1	70.7	71.9

算数	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
A 数と計算	<u>68.6</u>	66.0	70.6
B 図形	<u>68.8</u>	66.3	70.8
C 測定			
C 変化と関係	<u>54.7</u>	51.7	59.3
D データの活用	60.3	61.8	65.2

② 中学校

国語	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
(1) 言葉の特徴や使い 方に関する事項	<u>62.2</u>	59.2	61.6
(2) 情報の扱い方に 関する事項	<u>63.3</u>	59.6	62.9
(3) 我が国の言語文化 に関する事項	74.7	75.6	75.7
A 話すこと・聞くこ と	<u>60.7</u>	58.8	62.9
B 書くこと	<u>66.9</u>	65.3	67.9
C 読むこと	<u>49.1</u>	47.9	50.8

数学	(公立学校)		
	立川市	全国	東京都
A 数と式	<u>55.7</u>	51.	56.2
B 図形	<u>46.8</u>	40.3	46.5
C 関数	<u>64.0</u>	60.7	63.5
D データの活用	<u>61.2</u>	59.1	55.5

5 生活習慣や学習環境に関する調査

（1）児童・生徒質問紙調査について

※質問事項は、指導課が抽出したものである。

※数値は、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」など
肯定的な回答の割合である。

上段：小学校第6学年（％）
下段：中学校第3学年（％）

＜自分自身に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	立川市 (R5)
①自分には、よいところがあると思いますか。	85.4 81.9	84.1 83.3	84.5 83.4	83.6 77.1
②将来の夢や目標をもっていますか。	79.6 64.1	82.4 66.3	80.7 64.4	78.9 61.8

＜学習に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	立川市 (R5)
③5年生（2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	80.9 81.3	81.9 80.3	81.8 80.6	76.8 77.9
④学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	87.2 84.7	86.3 86.1	85.7 85.5	78.8 77.6

（2）学校質問紙調査について

※数値は、「よく行った」など最もよい肯定的な回答の割合である。

＜学校における指導に関すること＞

質問事項	立川市	全国	東京都	立川市 (R5)
⑤各児童（生徒）の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか（新設）	89.5 77.8	81.0 81.1	77.9 75.2	
⑥調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	47.4 55.6	30.9 55.7	38.1 55.0	47.4 55.6
⑦児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	21.1 33.3	39.2 40.5	42.3 42.4	36.8 44.4

（3）児童・生徒質問紙調査及び学校質問紙調査からの考察

- ◆①、②については、今後も児童・生徒の自己肯定感をより一層高めるために、児童・生徒が互いのよさや可能性を発揮し、よりよく成長し合えるような集団活動を、特別活動をはじめとした様々な教育活動の中で推進するとともに、児童・生徒のよさを継続的に認めて声をかけることが大切である。また、今後も「立川夢・未来ノート」を使用し、キャリア教育に生かすことが大事である。
- ◆③、④については、課題解決型の授業展開できるよう各校で授業研究を推進してきたことで、昨年度比で結果が向上したと考えられる。
- ◆⑤については、小学校では教科担任制・学年担任制を実施している効果も含まれると考えられる。また、小・中学校ともに担任等に生活指導上の問題を一任するのではなくチームとして取り組んでいる結果である。
- ◆⑥、⑦については、児童・生徒の姿を適切に評価し、学校と地域が一体となって、教育課程のPDCAサイクルを確立していく必要がある。市として今後も、さらに学校と連携し、教育課程の改善に努めていく。